

## 地元活性化探究プロジェクト

～Explore our local community and ourselves～

分散登校の2週間が終わり、ようやく全員そろっての登校がスタートしました。さて、この「旭陵発信型 地元活性化探究プロジェクト」では、長い休校が続く中ではありましたが（いや、休校中だからこそ）、地域探究に向けた学びの土壌を1年次生を対象に育み始めました。今回は本校の地域探究学習に向けた学びの土壌づくりを紹介します。

**コミュニケーション英語 I Lesson 1 When Words Won't Work**  
Our Goal  
**MAKE MY OWN PICTOGRAM!**  
自分のオリジナルピクトグラムを作ろう！

プロセス  
その①～その④の順序で進めてみよう！

考え方のポイント  
〇〇な場所に□□のようなピクトグラムを作成、表示することで、どんないい流れ（効果や影響）を自分の住んでいる地域社会、あるいは住民に与えることができるのか？

**【プロセスその1】** 課題の設定  
自分の住んでいる地域について「えっ?」と感じたこと、「もっと知りたい!」「もっと詳しく調べてみたい!」と思ったことを書きだしてみよう。(こんなことが不便だ、こんなものがあつたらいい etc…)

**【プロセスその2】** 情報の収集  
プロセスその①のうち、最も関心が高いもの、重要と思うものを3つほどピックアップし、書籍、インターネット、インタビューなどによって調べ、まとめてみよう。  
外出できない状況下にあるので、兄弟、家族に直接聞いてみたり、アンケート(LINEやInstagramなど)を作って友達に聞くのも素敵なお方法です。また、地元の広報誌や、ホームページはとても参考になります。

**【プロセスその3】** 整理・分析  
プロセスその②について、収集した情報(分かったことや生の声)を自分なりに「整理・分析」してみよう。  
自分の持っている興味・関心から、どんなオリジナルピクトグラム作成すべきか課題がわかるよ。「〇〇な場所に□□のようなピクトグラムを作成、表示することは可能か」と考えてみよう。

**【プロセスその4】** まとめ、表現  
調べたり、まとめたりする過程で、感じたこと、思ったこと、考えたことを書き出してみよう。  
→ **いざ、自分のオリジナルピクトグラムを作ろう!**

コミュニケーション英語 I では入学後最初のレッスンとして、ピクトグラム(絵文字)について学びます。

そこで自分のオリジナルピクトグラムの作成を結びの活動として企画しました。

デザインをするにあたり、自分の住んでいる地域社会や住民への良い効果や影響を考えるよう条件を示しました。

探究の4つのプロセス(課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現)をしっかりと踏みます。今回は「まとめ・表現」の部分がオリジナルピクトグラム作成となるように設定しました。

この取り組みは教科(英語)から地域を考えるきっかけ作りとなりました。今後の展開としては、完成したピクトグラムを1人1人がホームルームの時間を使いプレゼンします。また、家庭科の授業ではそのピクトグラムを使い、SDGs(持続可能な開発目標)について考えていきます。教科横断型の取り組みを行います!!